

事務事業評価シート

(評価対象年度：平成29年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名	水道量水器管理業務				②事業番号	6204	
③事業類型	4. 施設等維持管理事業			④開始年度	年度	⑤終了予定年度	平成 年度 ○ 設定なし
⑥根拠法令等	<input checked="" type="radio"/> 法令	条例	規則	要綱	計画等	その他	法令等の名称 水道法・計量法
⑦実施手法	直営	全部委託	<input checked="" type="radio"/> 一部委託	補助・負担	その他		
⑧関連予算科目コード	款	B	項	1	目	2	細目 —
⑨担当部名	上下水道部		⑩担当課名	上水道工務課		会計	水道事業会計

2. 事務事業の現状把握【DO】

〔1〕事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)	対象指標(対象者数を表す指標)	単位
① 量水器	① 量水器数	個
②	②	
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか) 法令に基づく適正な管理を行うために申請審査業務、量水器交換業務を行う。	活動指標(活動の量を表す指標)	単位
	① 新規件数	件/年
	② 交換必要件数	個/年
	③	
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか) 量水器に係る円滑な設置および厳正な検針が図られる。	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
	① 設置数	件/年
	計算式	
	② 交換数	個/年
	計算式	
	③	
	計算式	
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつか。上位施策との関連) 使用される水量を正確に計量することで必要となる水量を把握することができ安定給水を図ることができる。	総合計画体系上の位置付け	
	政策(章)	5 快適で活気にあふれ、環境にやさしいまち
	施策大(節)	2 活気にあふれるとともに快適で美しく、市内・市外がネットワークで緊密に結ばれ、だれもが使いやすいまちをめざします
	施策中	3 上水道の充実
	施策小	5 情報通信システムの構築

〔2〕各種指標値、事業費の推移

指標名		単位	H27実績	H28実績	H29実績	H30見込	H31目標	指標値の推移における特殊要因などの説明	
対象指標①	量水器数	個	21,861	21,980	22,000	—	—		事業費などの推移における特殊要因などの説明
対象指標②									
活動指標①	新規件数	件/年	226	229	214	—	—		
活動指標②	交換必要件数	個/年	2,724	2,548	3,037	3,051	—		
活動指標③									
成果指標①	設置数	件/年	226	229	214	—	—		
成果指標②	交換数	個/年	2,724	2,548	3,037	3,051	—		
成果指標③									
事業費	投入人員							事業費などの推移における特殊要因などの説明	
	正職員	人	1.70	1.85	0.90	0.90	—		
	任期付職員	人	1.00	1.00	1.50	1.00	—		
	臨時職員	人	1.00	1.00	0.00	0.00	—		
事業費	人件費(投入人員*単価)	千円	18,446	19,767	11,997	10,407	—	事業費などの推移における特殊要因などの説明	
	直接事業費	千円	11,551	12,435	14,034	28,508	—		
	総事業費	千円	29,997	32,202	26,031	38,915	—		
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	—	—	
	府支出金	千円	0	0	0	0	—		
	受益者負担金	千円	29,997	32,202	26,031	38,915	—		
	その他特定財源	千円	0	0	0	0	—		
	一般財源	千円	0	0	0	0	—		

〔3〕事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	法令に基づく。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	法令に基づき行っていく。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	—

### 3. 事務事業の評価【CHECK】

#### [1]目的妥当性(必要性)

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

[1]の評価 **A**

評価項目	評価及び理由・説明等	
①事務事業の意図すること(目的)は、上位施策(施策小)の達成に貢献しますか。	ア. する イ. ある程度 ウ. しない	適正な検針により水道料金の賦課、徴収に貢献している。
②税金を使って達成する目的ですか。(市が関与する必要がありますか、市民(特に納税者)の納得が得られますか。民間に類似サービスはありませんか。)	ア. はい イ. ある程度 ウ. いいえ	水道料金により行っているため(独立採算性)
③対象範囲、単価、事業費規模は市民のニーズや社会環境に合っていますか。(他団体と比較してどうですか。)	ア. 合っている イ. ある程度 ウ. いない	メーター価格等の入札を行い適合させている。
④事務事業を休止・廃止した場合、市民生活(あるいは上位施策)への影響はありますか、ある場合それは大きいですか。	ア. 影響がある イ. ある程度 ウ. ない	法令違反になるので廃止等は行えない。

#### [2]有効性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

[2]の評価 **A**

⑤期待どおりの成果が得られていますか。	ア. 得られている イ. ある程度 ウ. いない	法令に基づき行っているので期待どおり成果は得られている。
⑥今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。(事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができますか。)	ア. ある イ. ない	—
⑦庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できますか。	ア. 類似なし イ. できる ウ. できない	—

#### [3]効率性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

[3]の評価 **A**

⑧成果を下げずに事業を工夫してコスト(直接事業費+人件費)を削減する手法はありませんか。(業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などはできませんか。)	ア. ある イ. ない	—
⑨受益者負担の適正化余地はありませんか。(歳入確保はできませんか。)	ア. ある イ. ない	—

### 4. 総合評価

総合評価	評価(A~D)	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理	A: 現状のまま事業を進めることが適当 B: 事業の進め方に改善が必要 C: 事業規模、内容、実施主体の見直しが必要 D: 事業の統合、休止・廃止の検討が必要
	<b>A</b>	—	

### 5. 改革、改善案【ACTION】

#### <今後の方向性>

<b>ア</b>	<p>ア. 現状のまま継続</p> <p>イ. 見直しのうえで継続</p> <p style="text-align: right;">ウ. 終了 ( ___ 年まで)</p> <p style="text-align: right;">エ. 休止 ( ___ 年から)</p> <p style="text-align: right;">オ. 廃止 ( ___ 年から)</p>
<b>イ</b>	<p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">&lt;今後の展開方針&gt;</p> <p>a. 重点化する(集中的なコスト投入)</p> <p>b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える)</p> <p>c. 効率化する(コストを下げる)</p> <p>d. 簡素化する(規模を縮小する)</p> <p>e. 統合する(他の事務事業と統合する)</p>
①改革、改善の具体案、実施年度など	—
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策	—